１．大規模車両滞留防止の課題

（１）ドライバーへの雪害回避行動要請

**他社仕様の答案は、まことに申し訳ありませんが、受け付けておりません。**

お手数ですが、用紙を当研究所のHPからダウンロードし、当研究所の用紙にご記入願います。

[用紙ダウンロードはこちら](http://sat1.sakura.ne.jp/gijutsushi1/toanyoshi.docx)

また、ご記入の際には次の注意点があります。

1. **問題文をすべてヘッダーにご記入願います。** 文字数が多い場合はフォントを小さくしてください。ご記入いただく理由は、ご自身でも改めて問題文を精読していただくためです。読み落としが多いために、出題趣旨に応えられない方が多いためです。
2. **見出しのアンダーラインや太字は不要です。** 添削の妨げになりますし、試験では考慮されません。
3. **図表は別紙のjpg形式で構いません。** 本文中に図表の位置をテキストで表記してください。

以上、よろしくお願いいたします。

　短期間の集中的な大雪時に大規模な車両の停滞が繰り返し発生し、解消までに数日間を要するケースもあった。このため、国民一人一人が降雪状況に応じて道路の利用を控える等、国民が通行止めの必要性を理解し、道路の抑制にと努める必要がある。

　したがって、道路の利用抑制の観点から、ドライバーへの呼びかけ・協力を要請することが課題である。

（２）自治体、行政の救難体制の強化

　大雪時の対応について、国、地方公共団体、道路管理者、警察、消防、自衛隊等の関係機関が果たす役割を明確にし、連携を強化する必要がある。特に短期間の集中的な大雪時の対応について、通行止めや滞留者の救出活動等の実効性を高めるため、合同での訓練や情報収集を連携して行い、道路利用者に適切に周知できるよう情報の発信方法等を工夫する必要がある。

　したがって、危機意識共有の観点から、関係機関の連携を強化することが課題である。

（３）道路管理者等の雪害対応の強化

　気候変動の影響により、積雪深さが過去最高を更新するなど、短期間の集中的な大雪が局所的に発生している。道路は物流を安定的に輸送し、人々が生活を送る上で欠かせない重要なインフラであり、常に機能する必要がある。しかし、交通の確保を優先し、通行止めをちゅう躇した結果、大規模な車両滞留を引き起こした事例もある。

　したがって、安全・安心な通行を確保する観点から、道路管理者等の取組を強化することが課題である。

２．解決策

（１）除雪、雪道対応意思決定の迅速化

　道路管理者等の取組を強化するためには、ソフト対策を実施することが解決策の一つである。なぜなら、多様な主体と早期に連携することで、効果の高い対策を実施できるからである。

　具体的には、段階的な行動計画を示すタイムラインの作成や地域における除雪体制の強化、除雪作業を担う建設会社の確保、タイヤチェーン装着の徹底、出控え等の要請等大雪時の行動変容等である。

（２）道路融雪、除雪救難対策

道路管理者等の取組を強化するためには、ハード対策を実施することが解決策の一つである。なぜなら、災害時の救急活動や物資の輸送等を途切れさせてはいけないからである。

具体的には、高速道路や主要国道の４車線化や渋滞の起点となりやすい交差点へのカメラの増設、ロードヒーティング等の消融雪設備の整備、Ｕターン路の整備、路外への救助場所の整備等である。

（３）雪害対応の自動化

　道路管理者等の取組を強化するためには、新技術を活用することが解決策の一つである。なぜなら、限られた人員で効率的に作業を行う必要があるからである。

　具体的には、AIを活用した交通障害の自動検知システムの開発、タイヤチェックの導入、気象予測技術の向上、衛星データ活用の除雪車の自動運転化等である。

３．リスクと対策

　上記解決策を実行しても新たに生じうるリスクは、雪害対応の行き過ぎによる〇〇である。なぜなら、〇〇ため、大規模な車両滞留を引き起こす大雪は、全国のどの雪国でも発生する可能性があるからである。

　上記リスクの対策として、地域の特性に応じた〇〇対策を実施することである。